

平成30年度 事業計画

我が国の景気は2012年以降、拡大局面が続いており、「いざなぎ景気」を上回り、戦後2番目に長いものとなっています。この景気拡大は2018年も続くのかというのが最大の注目点です。実感なき景気回復、これは緩やかな回復基調が続いてきた所以であろうと思われます。

世界経済は順調に拡大し、昨年を振り返ると、主要国では政治面で大きな出来事が相次ぎました。幸い、各国とも大きな波乱は生じず一応の安定は保たれ、今後も緩やかな景気拡大が続くものと期待しています。

しかし、海外要因には慎重な視線を持つ必要があります。北朝鮮や中東情勢などの地政学的リスクや、中国経済の減速懸念など潜在的な波乱要因が多くあります。また、我が国の経済政策の中で、金融政策が緩和一辺倒から出口を模索する方向に向かえば、マーケットの動揺があるかもしれません。

2019年には消費税の増税が予定されています。本年は引き続き「緩やかな景気拡大」に安閑とせず、次に訪れる経済課題に敢然と立ち向かう年度と認識し、日本経済が抱える多くの課題を忘れることなく準備専一に商工会議所運営をする所存であります。

地域経済においては、「生産性の向上」と「事業承継」が重要な課題です。中小企業の生産性は大企業の2分の1にとどまっていますが、個別にみると大企業の水準を上回る中小企業も多く存在します。これら企業に共通する、経営者の成長の意識が高くITや設備投資に積極的であるという点に着目し、経営者自身の気づきを促し、ICT（情報通信技術）を超えて、デジタル技術やAIの導入、ロボットの活用等「生産性の向上」に繋がる活動支援を展開します。

次に、「事業承継」については、「後継者不足」に悩む中小企業者の現状把握に努め、継続を望む中小企業の取り組みを、これまで以上に積極的に後押しします。

平成30年度は新名神高速道路の供用開始に伴う経済効果への期待が高まる中、地域経済を「成長戦略」の軌道に乗せるためにも「経営発達支援計画」の推進を中心に、来るべき変化に対応するべく、IT化支援等競争力強化に繋がる事業に力点を置き、地場産業や観光産業の新たな需要の開拓に寄与する事業を展開してまいります。

1. 小規模企業・中小企業等対策

(1) 小規模事業者・中小企業等の経営基盤の確立

- ①経営計画策定支援の推進（兵庫県補助金・宝塚市補助金／経営改善普及事業）
特に経営発達支援事業において、小規模事業者の経営計画策定支援を積極的に推進し、それに付随する各種事業を展開する。
- ②事業承継実態調査の実施・支援対象の明確化
国、県が展開する事業承継対策事業を利用して管内事業所の実態を把握。支援対象を明確化して事業承継支援を実施する。
- ③補助金獲得等施策利用の積極的推進
ものづくり補助金、持続化補助金、IT 補助金等中小企業・小規模事業者が利用しやすい補助金の獲得を支援する。
- ④ICT 利用促進のための広報・施策普及活動強化、AI 利活用に関する調査・研究
- ⑤ひょうごブランド全国発信事業への参画
- ⑥従業員教育支援事業の実施（兵庫県補助金／労働環境対策事業）
市内事業所が抱える課題のヒアリングと事前調査、課題解決指導、フォローアップまでを一貫して行う。支援先を少数に限定し継続的な支援を実施する。
- ⑦消費税軽減税率対策事業の実施（日本商工会議所委託事業）

(2) 創業・起業支援

- ①創業セミナーの実施（兵庫県補助金／地域活力増進事業）
- ②ビジネスプランコンテストの実施
- ③女性起業家に対する相談支援体制の充実

(3) 相談指導体制の充実

- ①巡回指導強化
- ②窓口対応の充実
- ③経営支援における専門家の利用推進

2. 地域振興対策

(1) 観光振興

- ①ジャパン碁コンgres 2018 との連携
- ②宝塚市観光キャンペーンへの参画
- ③中心市街地観光集客イベントへの参画

(2) 地場産業振興

- ①木接太夫のブランド化事業による植木振興（兵庫県補助金／異業種交流活性化支援事業）
宝塚市特別名誉市民に認定された「木接太夫」をブランド化し、新たな商品開発を行う。
また、山本地域の「植木」産業にスポットを当て、改めて見直すきっかけとする。

(3) 地域商業振興

①ワンコイン de スタンプラリー2018 の実施 (兵庫県補助金/ひょうご「まちおこし」支援事業、宝塚市補助金：宝塚市商工業振興支援事業補助金/地域活性化促進事業)
ガイドブックの制作・配布、イベント実施により告知効果が高いが、さらに効果を高めるための工夫を凝らして事業を展開する。

②商店会の活動支援

(4) 異業種交流・連携の促進

①阪神間4商工会議所会員大交流会の開催 (幹事：尼崎商工会議所)

②阪神7市1町若手後継者等育成事業の実施 (兵庫県補助金/若手後継者等育成事業)
当所青年部が幹事となり、阪神間7市1町青年部連携事業を実施する。各地商工会議所・商工会青年部の部員間交流と経営者としての資質向上を目的とする。

③異業種交流による新商品開発、新分野進出等支援 (兵庫県補助金/異業種交流活性化支援事業)
特に、地域内の異業種連携組織が行う新商品開発、販売促進を積極的に支援する。

(5) 宝塚北サービスエリアでの販促支援

(6) 安定した操業環境整備

(7) 官公需受注拡大推進

3. 会議所の運営ならびに会議所体制の確立

(1) 会員増強

地域創生の根幹は強い地域経済を構築すること、そして地域全体が未来に希望を持ち浮揚感を共有することである。そのような状況を実現するために、一人でも一社でも仲間に加わっていただき、知恵と力を結集し、役職員皆で協力し「新しい価値を生み出す」ために積極的に会員増強に取り組む。

(2) 会議所体制の確立

①委員会活動の充実と諸施策への反映

②部会への情報提供強化・合同部会開催による情報交換・交流の促進

③青年部・女性会の組織強化と事業の育成・支援

④特定商工業者法定台帳の管理運用

⑤技能向上対策

ア 各種検定試験の実施

珠算、簿記、日商PC、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、ビジネス実務法務、環境社会検定 (eco 検定)、ビジネスマネジャー

イ 講習会の開催 (パソコン教室他)

市内事業所及び市民のIT情報化・資格取得等の支援または各種検定事業の普及及び研鑽を目的にパソコン教室を継続する。

⑥各種共済事業の取り組み

ア 各種共済の普及と加入促進

特定退職金共済、県火災共済、P L保険、団体自動車保険、休業補償プラン、業務災害プラン、自動車事故費用共済、個人情報漏えい賠償責任保険、超ビジネスプロテクト等への加入促進

イ その他共済制度の普及に対する調査・研究

⑦福利厚生並びに文化事業対策

ア 健康診断受診支援事業の実施

イ 会員交流ゴルフコンペ、会員交流ボウリング大会等の実施

⑧栄典並びに会員相互の親睦対策

ア 表彰

会員企業特別表彰、役員・議員表彰、永年経営功労者表彰、会員企業周年表彰の実施と叙勲・褒章をはじめとした各種表彰への推薦

イ 宝塚市新年互礼会

⑨創立 20 周年記念事業についての検討

(3) 積極的な意見・要望活動の強化

商工業の健全な発達を促す環境改善のため、国・県・市等関係機関に対する積極的な意見・要望活動を実施し、懇談会等を通じて実現をめざす。

組織内においては、部会活動の充実を図り、積極的に意見集約に努める。

(4) 広報・広聴活動の強化

市民に顔が見える商工会議所づくりのため所報、ホームページの充実に努めるとともに、施策普及パンフレット等各種刊行物の発行により広報の強化に取り組む。

(5) 関係機関との連携強化

①地方創生の加速化のため、近畿経済産業局・兵庫県・宝塚市との連携をより強化する。

②日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会との連携強化はもとより、宝塚・尼崎・伊丹・西宮の阪神間4商工会議所における施策情報の交換や共同事業の実施により連携を強化する。

③「宝塚市・池田泉州銀行・宝塚商工会議所産業振興連携協定」に基づく地元企業の支援に取り組む。

(6) 調査・研究活動

①日本商工会議所L O B O調査（早期景気観測調査）への参加と活用

(7) 商工会議所会館の管理・運営

①会館の貸会議室の利用促進と会館施設の維持管理

(8) 国際交流事業と貿易振興対策

①国際交流事業への参加と斡旋

②貿易関係諸証明の発給